

災 害 救 護 速 報

平成 26 年 7 月 10 日 (木) 15:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
(Tel. 03-3437-7084)

台風第8号及び梅雨前線の影響に伴う7月6日からの大雨等災害に対する 日本赤十字社の対応について（1）

平成 26 年台風第8号により発生した被害に対する日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 気象概況（気象庁発表資料から：7月10日14:35 現在）

台風第8号は、10日14時には室戸岬の南南西約50キロを1時間におよそ40キロの速さで東北東に進んでいる。中心気圧 985hPa、最大風速は25m/s、最大瞬間風速35m/sで、中心の南東側600km以内と北西側390km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いている。

今後、11日未明にかけて浜松市の南約50キロまで進み、その後は進路を北に向か、11日正午には仙台市の東南東約160キロに達し、12日午後に北日本の東海上で温帯低気圧に変わる見込み。

台風の東進に伴い、10日は西日本と東日本の広い範囲で激しい雨が降り、南から南東の斜面を中心に局地的に1時間に80ミリの猛烈な雨が降る見込み。北日本では前線の活動が活発となり、雷を伴い1時間に50ミリの非常に激しい雨が降り、大雨となる見込み。

沖縄県に発表されていた大雨特別警報はすべて解除されている。

2 被害の状況（消防庁調べ：7月6日以降、7月10日09:00 現在）

都道府県名	人的被害（名）				住家被害（棟）				
	死者	行方不明	重傷者	軽症者	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
福島県	1							1	30
新潟県							2	17	172
長野県	1		1		1				14
広島県							1		
愛媛県	1							6	87
高知県				1			5		
福岡県				2			2	2	21
長崎県				1			1	1	5

熊本県							1	1	15
大分県				1					
宮崎県			1	1					
鹿児島県			1	1			2		2
沖縄県			2	34	1	2	18	76	59
合 計	3	0	5	41	2	2	32	104	405

3 避難の状況等（消防庁調べ：7月6日以降、7月10日09:00現在）

（1）避難指示

新潟市：1,258世帯 3,956名

（7月9日17:03 解除：1,258世帯 3,956名）

（2）避難勧告

7県50市町村：478,655世帯 1,131,262名

（7月6日22:00～7月10日06:00 解除：290,567世帯 787,904名）

4 災害救助法の適用

現在、以下の地域において、継続した救助活動が必要とされるため、災害救助法が適用されています。

（1）平成26年7月9日適用

長野県：木曽郡南木曽町

5 日本赤十字社の対応

7月10日15時00分現在で、日本赤十字社各都道府県支部・施設における被害は確認されていません。

（1）各支部の対応

7月7日

沖縄県支部：災害救援物資の準備をするとともに、支部職員1名が宿直し、情報収集を実施。

福岡県支部：第6ブロック管内の各支部において備蓄する救援物資の在庫状況、被災地支部へ提供可能な救援物資数の確認を実施。

7月8日

沖縄県支部：2時15分、支部に災害対策本部を設置。

引き続支部にて情報収集等、対応。

7月9日

沖縄県支部：各地区分区あて被害状況等を確認。

15時00分緊急セット27セットを3市町村へ配布。

第6ブロック各支部（九州）：支部職員（1～2名）にて宿直体制。

長野県支部：23時10分、木曽郡南木曽町の土石流災害による避難所へ毛布150枚、安眠セット20セットを配布。

7月10日

第5ブロック各支部（中四国）

第4ブロック各支部（近畿）

第3ブロック各支部（東海・山陰）

第2ブロック各支部（関東甲越）

第1ブロック各支部（北海道・東北）

各支部にて救援物資及び連絡体制の確認実施、被害等情報収集。

山形県支部：南陽市等における大雨等災害に対する救援物資の配布等対応中。